

# GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

— 地球をよく知り、地球と共生する —

2016

10

Vol. 5 No.10



# 10月号

299-310

新刊5万分の1地質図幅「茂原」のススメ：  
茂原エリアに認められる9つの地形学的  
地質学的見どころのご案内

七山 太・中島 礼・中里裕臣・大井信三

311-319

東西日本の地質学的境界  
【第四話】関東平野下の地帯配列 高橋雅紀

320-327

コアスケールコア解析基礎コース：その概要と沿革  
池原 研・池原 実・村山雅史・  
歴代講師・世話人・チューター・サポーター一同

328 新刊紹介「相模湾 深海の八景」

330 新刊紹介「北海道自然探検 ジオサイト107の旅」

ニュースレター

332 宮城県多賀城高等学校災害科学科の学生が地質標  
本館を見学

334 受賞・表彰「地質図 Navi が『日本地質学会表彰』  
を受賞」

## Cover Page



Aerial view of snow-covered Hoei crater of Fuji volcano.  
(Photograph and caption by Futoshi NANAYAMA)

## 航空機から見た冠雪した宝永火口

宝永大噴火は歴史時代の富士火山の噴火の一つであり、1707年(宝永四年)12月16日に発生し、2週間継続したとされる。それ以降現在まで、富士火山は全く噴火していない。プリニー式噴火により、当時の噴煙の高さは上空20kmにまで達したと推定されている。この際、江戸の街にも火山灰が降り積もったことが知られている。噴火によって生じた宝永火口は富士火山の東南斜面に位置し、その際3つの火口が形成されたとされる。ただし遠地から見ると最も規模の大きい第一火口のみが目立つ。

(写真・文：七山 太 / 産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門)